



— 政策提案、地元要望解決力NO.1 —

松坂よしのり

議会報
令和7年春号

第4回定例会において一般質問を行いましたので一部ご紹介いたします。

1 通学路の安全確保について

児童生徒の安全を守っていくために、取りうる安全対策を継続的かつ計画的に積み重ねていくことが重要であると考える。市内には道幅が狭いなど課題のある通学路も少なからず存在しているように見受けられる。

歩道のない道路や見通しの悪い道路を多数の児童が登下校している場面も見かけるが、登校時は比較的整列して歩いている児童生徒が、下校時は学校が終わった開放感からか、狭い道路を横並びになって話をしながら歩いていたり、自転車通学の生徒が急に飛び出してくる場合がある。子どもたちの歩行や自転車の乗り方など、通学時の安全を確保するためには、道路管理者や警察の対策と並行して、児童生徒へどのように指導を行うかが重要である。

質問 通学路の安全確保の取組みに関するスキーム及び具体的な安全対策について。また、児童生徒に対して歩行

大きく前進しています

や自転車の乗り方等について、安全意識を高めるために学校ではどのような手立てを講じているのか伺う。

回答 学校関係者、道路管理者、警察による合同点検を実施しており、危険箇所においては、道路管理者による路肩のカラー化や路面標示、警察による横断歩道や標識の補修、パトロールの強化等を実施しております。学校では道路横断時の留意点や歩道の歩き方などの交通安全指導を学級で日常的に行っている。



要望 今後は、学校関係者、道路管理者、警察の連携をより密にし、安全対策に継続的に取り組まれることを要望する。

ホームページもご覧ください。

市政に対するご意見をぜひお聞かせください!



令和7年度予算案を可決。市民生活のために。 松坂吉則は市民要望実現に向けて取組んでいます。

本音をズバリ!! 採決の結果、共産党のみが市長提案の予算に反対しました。生活を支える道路整備、ごみの処理、福祉政策、バス路線の維持など、予算を可決できないと事業の執行ができません。市民生活に大きな影響が出ます。ですから、予算や議案に反対する議員の要望は実現できないのです。予算は最大会派の要望が数多く実現されています。皆様からの地域要望は実行力のある議員にお任せください。

令和7年度の一般会計当初予算は、対前年度比で8.2%、418億円増の5,512億円と、過去最大。「子育て支援・教育施策の更なる充実」、「持続可能で魅力あるまちづくりの推進と都市基盤の充実・強化」を中心に、「地域を守り、未来を創る予算」となっている。主な施策では、市立小中学校体育館のエアコン整備を進め、災害時の避難所機能を強化する。また、不登校対策を強化しカウンセラーを増員する。都市基盤整備では、地域の利便性向上などのための道路整備に加え、令和6年度に開始したバス路線維持のための補助が継続されるほか、デマンド型乗り合いタクシーでは、緑区平山町地区を実施地区に追加する(高津戸町、大木戸、大椎町など)。福祉分野では福祉まるごとサポートセンター・障害者基幹相談支援センターの相談体制を充実させる。

主な事業【子ども・教育】

民間保育園の保育士等の給与改善(17億4,400万円)
市立学校体育館のエアコン整備(30億6,600万円)
不登校対策の推進(5億3,600万円)
学校・保育施設の給食費高騰分の支援(5億4,000万円)



【安全・安心】

マンホールトイレの整備(5,000万円)
防災備蓄倉庫の整備(3,400万円)

【都市・交通】

生活交通バス路線維持支援(7,500万円)
デマンド型交通の社会実験(2,600万円)

【地域経済】

有害鳥獣対策の推進(3,500万円)

神谷市長と千葉市の未来に向けて政策協議。

少子高齢化対策、インフラの老朽化、教育問題など色々な議論ができました。市長とともに千葉市の未来のために行政課題や地元要望を解決していきます。

2 これからの行政について

これからの行政は、人口減少社会に対応するため税金の使い道を明確にし、無駄を省くことが重要。以下行政評価について伺う。行政評価は、私は以前から事業単位で評価を行い、その結果をもって、必要性が低い事業に切り込んでいくべきだと主張してきた。本市の一般会計の規模は、平成18年度は約3,500億円だったものが、令和5年度は5,000億円(令和7年5,512億)を超えており、実に1.5倍の規模に拡大している。事業の見直しがなされないと肥大化していく一方である。加えて、近い将来、本市においても人口減少に転じ、収支が減少する一方、高齢者人口の増加に伴う行政サービスへのニーズは高まっていくことが想定される。こうした社会情勢の変化を考慮すると、「この事業に税金を投じて実施すべきか」を厳しい視点で判定し、「選択と集中」の観点から事業を見直していくことの重要性は、より一層増していくものと考える。

質問 本市におけるこれまでの事務事業の評価において、事業目標の明確化や達成状況の評価をどう行ってきたか?

回答 事務事業評価においては、原則すべての事業を対象に、評価を行い、既に目的を達成した事業については、廃止縮小などを進めるとともに、令和4年に改定した行

大きく前進しています

政改革推進指針に沿って、従来の「選択と集中」に未来志向の観点を加えた事務事業の見直しを推進している。

質問 当初は国費や県費などを活用して開始した事業が、その後、国費等が縮小し市費により存続する事例も相当数あると推測している。事務事業に対して評価を行い見直しする事が重要がある。市の見解について伺う。

回答 事務事業の評価にあたり、目標及びそれに要する行政資源を明確にしたうえで、必要性や効率性などを点検することは、合理的な手法であると認識している。

要望 本市の取組みにおいても、事業目標の明確化や達成状況の評価がなされてきたとの答弁だったが、重要な点は、対象を一部に限定せず幅広く事業を評価し、見直しへとつなげていくことだと考える。特に、事業開始当初は国費や県費を活用できたが、その後、市費を充てて継続している事業は、多大に見直しの余地があるのではないかと考える。税金の無駄を抽出し、税金を使うべき事業なのか根本的な在り方を再考し、前向きな新評価制度の構築を検討することを求める。



政策実行力、地域要望実現に自信あり。市民の皆様からの声を着実に実行しています。自由民主党会派(緑区)は、石井議員、三須議員とともに皆様の要望を実現しています。



実現(施工完了)

バリアフリー整備(視覚障害者誘導ブロック改修)(鎌取駅北口付近、鎌取十字路付近)



実現(施工完了)

浜野四街道長沼線(平山小通学路ガードレール設置)



実現(施工完了)

おゆみ野中央109号線 補装改良



実現(施工完了)

おゆみ野中央1号線 補装補修



実現(施工完了)

辺田町53号線 補装補修



実現(施工完了)

辺田町4号線(保健センター駐車場脇) 道路拡幅



実現(施工完了)

椎名崎町21線 側溝改良

- 土気町28号線 補装改良
▶施工完了
- 千葉大網線(鎌取駅北口交差点周辺) 補装改良
▶R7施工予定
- 落井町7号線 側溝改良
▶R7施工予定
- おゆみ野東南部4号線 視覚障害者用誘導ブロック設置及び段差解消
▶R7施工予定
- 高田町165号線 補装新設
▶施工完了
- おゆみ野町62号線 補装改良
▶R7施工予定
- 鎌取駅南口 バスロータリー側階段シェルター
▶R7・8施工予定(継続)
- おゆみ野109号線 歩道改良
▶R7施工予定
- 土気停車場千葉中線 補装改良(狭隘部拡幅)
▶R7施工予定
- 高津戸町5号線 歩道補装
▶R7施工予定
- 土気駅南口 バスシェルター改良
▶R7施工予定

千葉市議会議員 松坂 吉則 政務活動事務所

松坂よしのり 検索

千葉市緑区鎌取町230 TEL:043(291)2626 FAX:043(292)2882 Mail:matsuzaka1127@gmail.com

明治大学大学院修了(公共政策学修士)、元自由民主党千葉市議会議員団幹事長、元大学客員講師、議会運営委員会委員長等を多数歴任